

⑤物資の備蓄・支援

- ダンボールベッド・パーティションの備蓄等、能登半島地震を踏まえた備蓄物資（種類・数量）の見直し
- 備蓄物資をデータベース化し、県、市町村（避難所）、関係機関が情報共有できる体制の整備
- 支援物資を速やかに避難所等へ供給するための備蓄拠点配置の最適化と輸送体制の強化

論点整理

⑥ 飲料水・生活用水の確保

- 災害時における防災井戸等の代替水源確保策の検討
(活用可能な既存井戸の調査、消雪用井戸の活用研究等)
- 能登半島地震で有効性が確認された新技術導入の検討
(水循環型シャワーシステム、可搬式浄水施設、トイレカー等)
- 上下水道の耐震化の推進

論点整理

⑨ ボランティア

- 早期のボランティアの受入れと被災地への円滑な派遣のための災害救援ボランティアセンターからの積極的・迅速な情報発信
- 災害救援ボランティアセンターの運営業務での災害支援アプリなどの活用による業務の円滑化及び運営訓練の実施
- 災害中間支援組織の育成を見据えた行政・社会福祉協議会・NPOボランティア団体等の関係者による連携体制の構築

⑩ 災害廃棄物

- 市町村環境部局の情報収集体制の検討や、市町村から住民への正確かつ迅速な情報発信の促進
- 国等と連携した継続的な訓練の実施や、災害時初動対応マニュアルの見直し
- 災害廃棄物処理計画や災害時応援協定の見直し
- 仮置場の効率的な運営方法等に関するハンドブックの作成

論点整理

⑫ 孤立集落対策

- 孤立化する可能性のある集落と、それぞれの集落の課題の把握
- 「富山県孤立集落予防・応急対策指針」に基づく、集落における予防対策と応急対策の推進
- 自主防災組織の活動の強化に向けた支援の拡充（停電や断水でも対応できるオフグリッド化のための資機材整備の推進など）
- 空や海からのアプローチのためのヘリの離発着や、エアクッション艇（ホバークラフト）の揚陸可能な場所の確認と訓練の実施

論点整理

⑬ 道路啓開計画

- 北陸圏域の道路啓開計画の早期策定に向けて、各道路管理者や関係機関が連携し、優先的に啓開を行う路線や啓開作業の実施体制を整理
- 訓練など平時における実災害を想定した地図の活用により、効率的な情報共有のあり方を検討
- 能登半島地域の道路啓開の教訓を踏まえた対応
(関係団体との連携体制や災害時応援協定の確認等)